



教務部長
廣瀬治男教授
(電気電子工学科)

「フレッシュマンゼミ」の積極的活用のすすめ

新入生の皆さんにこれからの学習に役立つ考え方などについて述べます。

最初に理解しておきましょう。授業料
最初に大事なことは、授業などの単位
についてどの単位は授業時間だけで構成されているのか（一コマ（九十分）二単位科目）は基本的にはその二倍の時間を要するということに注意してください。授業料を払うという点に注意してください。授業料を払うという点に注意してください。

間隔の予習復習を含めているのです。半
日九十分の授業は内容は演習を含む形で
十九十分の半分四十五分位の二倍（三
十分から四十十分）の学習が授業時間以外に期待さ
れるということです。実験、実習、実技はレ
ッスンや宿題は別にすれば出席して実際にやること
が求められています。ですから出席していきな
い席についていけないことになります。

このようにすると例えば月曜日に二コマ通常の授業を履修したとすると授業時間以外で六時間学習が必要ということになります。これを土曜日まで六日間一口二コマを履修すると二十四単位、授業以外での学習時間は二十六時間ということになります。毎日毎日六時間、ええい！！！！にならぬに勉強ばかりやられるかい！！！！と考える人もいるでしょう。実際には演習や実験など予習復習が予定されている場合の日時がありますから、また、休日なども含めて考えてよいので、かなり余裕が出てきます。

修科目、選択科目、自由科目を選ぶための時日なのです。どの科目が良いのか白分で判断する機会を与えようと設けられています。同じ曜日、時間の別の科目を次の週に聴いて選択することが出来ます。フレッシュマンゼミと言う科目があります。

す。そこでは皆さんが早速、確実大学生活の学習にぜひ、スムーズに大学生活を送るために教員のアドバイスが得られるようになっていきます。日頃の悩みや分からないことがあったら遠慮なく、たずねることができる。大学は皆さんを育てることが目的です。だから自分が出来ないことを恥がましいと思わずから考えないで、率直に先生に聞く態度が必要です。今、皆さんは青春の真っただ中にいるわけでこの時を大切に使ひましょう。読書も今までは余程多くする必要が、読書も今までは授業では、使用される言葉には難しいものもありますし、表現も複雑です。読書はこんな時に役立つのです。もし自分が分からない漢字や表現があつて周囲の友達二三人が同じだったら、先生に質問してください。機会があつたら先生の研究室を訪問してみることをお勧めします。研究テーマとか先輩など、すばらしい出会いがあることも多いのです。

最後に、皆さんは、これから大人としての扱いを受けると心得てください。言い換えると自分の行動、言葉、身だしなみ、礼儀作法、異性問題など全てに責任ある個人として見られ、扱われるのです。これからの皆さんの精進に大いに期待しています。

目標をもって楽しい学生生活を



機械工学科主任——村川正夫教授

機械工学科の新人生諸君、日本工業大学へようこそ。大学への入学は間違いなく人生の大きな節目であり、周囲のだからでも祝福されるのスタートです。日本工業大学の四年間のキャンパスライフを思い切りエンジョイされると同時に、実りあるものにされん事を祈っております。

キャンパスライフをどう設計するかは、全く諸君の卒業時において自分は少なくともこの人とは違うもの、を身につけたと胸をはって言えるように、目標をもって学生生活を送って欲しいという事です。そのためには、まず好奇心を持ち、多くの事に挑戦し、良き友友々を持ち、個性に切磋琢磨し、自分の個性、適性を思い出し、自分の事を肝要かと思えます。

幅広い教養も身につけよう



電氣電子工学科主任——石田之則教授

入学おめでとうござい
ます。希望に胸を膨らませて
大学の門を入られたことと
思います。長い人生で、自
分で自由にできる時間が一
番多い時を皆さんは迎えら
れたわけですね。この機会を
どのように生かしていくか
を考える、これが皆さんの
当面の課題です。先生や先
輩あるいは友人とのコンタ
クトを積極的にもとめ、参
考意見を聞きながらぜひし
活用して下さい。良書は皆
さんに確かな指針を示して
くれると思います。また本
を大切に保管しておけば
時の経過に関係なく、いつ
でも、何のツールもなく見
直せるのが本の大きな利点
です。私は心に強い印象を
覚える本を皆さんが学生時
代に見付けられることを心
から願っております。実
り多き学園生活を送られま
うことを祈念致します。

分別の、いろは



建築学科主任——渡辺勝彦教授

新天地に乘られた皆さん、歓迎します。

学生時代は、飛躍的に大人に成長する時期です。この大学で、社会の中で、伸びてゆく自分自身を思ひつめていてほしいのは、自來の道が開かれるのを、自らを律して社会に接するときです。丁寧に周囲を見回すと、自然の事象も視野に入ってきます。建築を目指す諸君は、やがて「よい建築」を

きた親子連れに乗って、皆荷物を持っています。お母さんは、皆さんの邪魔になるからねとやさしく声をかけて子供にリュックを降ろさせました。回りの心が和んだ瞬間でした。思い当たるでしょう。皆さんもこうして鑢られてきたことを大人になってゆく諸君に期待しています。

意欲をもった取り組みを



システム工学科主任——加藤重雄教授

システム工学科に入学した諸君、入学おめでとう。システム工学科では、原子を1つずつ取り扱えるナノ技術、青色レーザーダイオードなどの「ものづくり」技術、最新の情報制御技術など、最先端の技術を学ぶことができます。

さて今、日本には未曾有の経済危機に見舞われています。しかし、システム工学科で習得できる技術を応用して、

も買いたくなるような魅力のある商品を多数市場に出して私達の購買意欲を上げさせることができます。経済は成長して事態は急速に改善でき、経済大国日本は輝きます。

これは意欲を持ちさえすれば、システム工学科新入生の全員にできることです。新入生諸君、意欲を持って、システム工学を学んでゆこう。

目標をワンランク上に定めよ



情報工学科主任——横澤康夫教授

新入生の皆さんご入学おめでとうございます！
日本は今こんなに苦しい状況ですが、皆さんがこれからの日本を背負って立たなければなりません。そのためは、これから学生生活の過し方が大切です。できるだけ早く卒業後の自分の姿を思い描いてください。その目標に向かって挑戦してください。自分の能力を自分で見切らないように。

肝に銘ずべきです。
情報工学科では、皆さんに幅広い情報工学の学問分野に早く触れて自分の進むべき方向を発見してもらうためのカリキュラム上のかく拉克リをたくさん用意しています。また、挑戦してもらいたい課題も多数用意して待つています。自ら意欲的に勉強し、所期の目標を達成するよう努力してください。

自己錬磨に力を注ごう



共通系主任——寺尾裕教授

日本工業大学入学おめでとう。

大学の4年間は自分の人生を切り開く第1歩となるところであるから、目標に向かってひたすら励み、技術・知識・能力を身につけて欲しい。

同時に励んでほしいのは、自分を磨く「魅力的な人間に出た時に、魅力的な人間であり続ける為」に、積極的に行動し、様々な人達

それが生かせるよう、また相手にそれが認めてもらえる様なコミュニケーション能力を身につける事が人事である。とにかく、多くのことに好奇心を持ち、挑戦していく。こうして磨き上げられた「自分」は、情報化社会を生き抜く術と、豊かな人間性を持ち合わせ、た魅力ある人間に育っていることと思う。

入学おめでとう

機械工学科

諸君、このたびは晴れてのご入学、まことにおめでとうございます。私は、今年もまた、多くの新しい学園の仲間を迎えて、たいへん幸福感に浸っております。

さて、すでにお気づきのこと存じますが、本学のキャンパスの門前には、国際環境基準（ISO14001）の認証取得が表示されております。ちなみに、いま我が国には、649の大学が存在しますが、この認証を取得しているのは、わずか16校。従って、その点を勘案しただけで本学の環境が如何に誇るに足るものかお分かり頂けましよう。

しかし、諸君によく理解しておいて頂きたいのは、表面的な環境保全や美化のみにして認証を取得しているわけではあ

りません。

諸君もよく承知のように、いま世界的に環境問題への対処が大きな課題となっており、われわれエンジニアの世界においても、も

また第二は、いま工学界では、国際時代に対応して、日本の技術者の能力と評価を世界的な水準で確かなものにする取り組みが始まっておりますが、そこでもあ

ます。

いずれにしても、いまや、あらゆる事が地球規模で推移致しております。従って、そういう状況下で生きてゆくためには、まずは何を指しても工学の基礎を、しっかりと学習すること。そして同時に、国際舞台で活躍できる語学力や豊かな教養を修得しておかなければなりません。

さらに申し添えておけば、いわゆる「実学」をモットーとするのが日本工業大学は、実験・実習施設がたいへん充実致しております。従って、い

ずれ社会で活躍する手だてとして、それらをぜひ有効活用して、基礎技術を確固たるものにして下さい。

諸君の今後の一健闘と学習成果を、大いに楽しみにしております。

「技術倫理」と国際感覚を座標に



理事長
大川 陽康

はや環境に配慮した「ものづくり」なしには、ことは円滑に運びません。

そこでエンジニアの養成機関として、第一に学びの場が環境配慮に適ったものでなければならぬこと。つけて頂きたいからであり

るべきエンジニアの資格として、環境や深い人間理解への「技術倫理」が主要な柱となっており、本学に身

をおく諸君には、ぜひとも、そういう素養を十分に身に

電気電子工学科

建築学科



システム工学科

情報工学科

大学院工学研究科

◆博士前期課程

【機械工学専攻】

【電気工学専攻】

【建築学専攻】

【システム工学専攻】

【情報工学専攻】

◆博士後期課程

【機械工学専攻】

【電気工学専攻】

【システム工学専攻】

【情報工学専攻】



浅野エミ子先生

新入生の皆さん、悩みごとがあったら、
遠慮をしないで《学生相談室》の扉を叩きましょう。

大学生活は、高校時代と違って、学びの環境が、がらりと一変します。そのため人によっては、ストレスによる意欲の減退や体の不調を招きかねません。もし、そんな兆しを感じた際は、皆さんの『お母さん役』である学生相談室の浅野ミエ子先生に、気軽に話をして下さい。とくに親元を離れて学習に取り組む諸君には、まことに頼りになる存在です。

片山 そうですね。それを一年の時だけでなく、三年生にもできれば、大分変わる可能性があるのではないかと思います。

原 システム工学科でもどちらかにいうと、一年生それから近いので、一年生でそこまで完璧じゃない。いいか。

荒井 新入生に対して中村先生何な、云いますか。

中村 電気工学科ではフレッシュマンゼミを兼ねた電気工学特別演習の授業があります。演習です。早く終わった学生は帰ります。遅い学生は遅くまで残

ムで見ますと、学生が納得するところまでといくのに、待ちきれないところがあります。この意味でフレッシュ・ユマゼミの意義は大きいと思います。

荒井 原先生、お願い致します。

原 好奇心というか、自

かりやつてですね、全体が広がらないですら、今年クラブなんかいいんじゃないですか。今まで見ていたクラブに入って活躍している学生はだいたい就

荒井 その通りですね

追って、
 コミニケーション技術
 や先輩・後輩に対する礼儀
 づつ出来上がって、くるよう
 作法、そういうものが少し
 出て来ます。新人生に對し
 ては、できるだけクリアにし
 て、もう一度体験をし
 てもらいたいと思います。
 片山　そうですね、やる
 べきですね。

新人生に對して一言、お願
 い致します。

言葉の学術に力を!!

船橋　新人生にお願い
 したいのは、言葉です。ま
 ず第一に日本語、加えて外
 国語、基本的には英語と考

ENT

★お 02

か

活を送っていく訳ですが、これから皆さんは大学生、どのような思いで日本工科大学に入学したのでしょうか。

分には何が出来るかという点と見極め、その目標に向かい努力する事が重要です。そして、様々な事を経験し

が必用との認識が徐々に広まってきており、こうした街づくりに対する民・官・学間交流への期待

内本と俊

それは困った時に
になる先輩、他学科の
々々。しかし、こういつた
様々な事を経験するチャン
スや大学での4年間という
時間が皆さんに同じように
与えられていても、それを
活かすことがないというの
が現状である。
各々が地道な活動を
継続する中で、中間発表
地ネットワークを考える

船橋昭一教授
(共通系)

学、学生環境形成への努力を開始した。とりわけ注目すべきは、学生自治会、文化団体、体育団体の中心に全大学の学生の参加を目標とする「ISO1400」への取り組みである。この活動は因唯一といえる。学生組織を生諸君。若手学生の大きな夢を紹介した。ところで、新人生諸君の夢というのは目標をしかり持つて学習になりたことを始めたいださいたい。どのような高級技術者なりたいかを考え、自分をつみつめほしい。君の努力すべからぬの現には平常の操縦ではなままたま大きな場面に向向けるとよい。研究室を訪ね上級生先生から研究の内容を直接聞けるチャンスを手につかむことも大切である。君自身がこれら思う事に出合った。文字の中にあって輝く存在であることを願つてやまない。輪の中は常に健康に気を使い、事故に遭わない日々である。

とを切に願ふ。

入って、うーうー体験をし
てもいいかと思ひます。や
るべきですね。

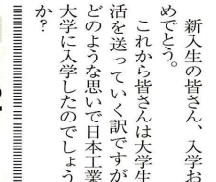
荒井 渡辺先生、いかが
ですか、新人生に対して何
かアドバイスは

渡辺 漠然然しててもい
いですが、自分はいい技
術屋にゐんだ。というこ
とを念頭においてすべて
の事に処処していけば、お
のり

船橋 新人生にお願い
したいのは、言葉です。ま
ず第1に日本語、加えて外
国語。基本的に英語と考
えてもいいかもしれませんが
それから、コンピュータ
基本操作は一年で必ずマ
スターしておて欲しいと思
ひます。これはもう必須の
条件です。

荒井 いろいろのご言
ひありがとうございます。

学生自治会執行委員長 新入生歓迎の辞



必要用の言語を身に付けておくことが、これからはますます広まってきており、こうした街づくりに対する市民・官・学間交流の期待が、この新しい試みを推進するための一可並み再生プロポーザル行田C21と名づけられたこの試みの中間発表会に集った。

本学から伊藤新一教授と韓国からの留学生・宋俊源（ソン・ジュンスク）さん、朴敏華（パク・ミンファ）さんを中心とした伊藤研究室の学生諸君が参加した。

ところで、学と官、学と民、学と学との関係が現状とどうなっているのか？

各人々が地道な活動を継続する中で、中間発表までに記し着けたのは、初めて記したように本学芝浦・ものつくりの3大学である。

学生諸君による街づくり活動は、見事に「つながり」をつくりだしてきている。そして、安心感があふれる環境へ、路地や空き家を入れ整備し、地元ネットワークを考える星袋蔵をいかした文化活動の拠点作り。行田の特性については水資源を生かす古いものと新しいものの混在、等であった。

■町並み再生プロポーザル で中心的役割

表が、昨年十二月初旬に日本工業大学・芝浦工業大学へのつくり大学により行われた。

初めは埼玉県の呼びかけが始まった。この県内最初の試みに参加した大学は埼玉大学・日本工業大学・東洋大学・足利工業大学等の県

と民の協働による市街地活性化の提案案は、これまで多少なかった。しかし、民・学・官が協働する例は非常に少なく、さらに、複数の大学が、しかも街が中心的に参画する街づくりは、まったくといって良いほど聞

りの提案は、伝統の町田などではの「足袋蔵」[裏通り]「路地」"水路"をテーマとしたものとな

ここで伊藤麻一研究室の学生諸君の意見・提案をまとめて見ると、裏通りにについては▽下町のた

種の競技大会入賞を果たしたり、また、ボランティアや学会などが主催する「各様のものづくりコンテスト」で受賞するなど、語をばり活躍をされた、若者を紹介しています。従って、皆さん自身近にその方がいたら、ぜひその生肌までお知らせ下さい。

したい。



(F) くだ